

個人投資家さま向け 会社説明会

KDDI株式会社

1 会社概要

2 新経営体制2年

3 KDDIの成長戦略

4 株主還元

5 参考情報

この配付資料に記載されている業績目標等 はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値でありこれらは、経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績等は、この配付資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

会社概要

商号	KDDI株式会社	営業収益	3兆5,721億円 *
創業	1984年6月1日	営業利益	4,776億円 *
業種	情報・通信	株価	6,150円 **
発行済 ^{*1} 株式数	448,481,800株	時価総額	2.76兆円 **
主要株主 ^{*2} の状況	京セラ株式会社 12.76% トヨタ自動車株式会社 11.09%	配当利回り	2.76% ***
証券コード	東京証券取引所一部 (9433)	PER (株価収益率)	9.40倍 ***
		PBR (株価純資産倍率)	1.14倍 ****

*1 2012年10月1日に実施した株式分割（普通株式1株を100株に分割/1単元=100株）を考慮した株式数

*2 主要株主の状況は、出資比率ベース（=自己株式66,300,600株を含めた算定）/2012年3月末時点

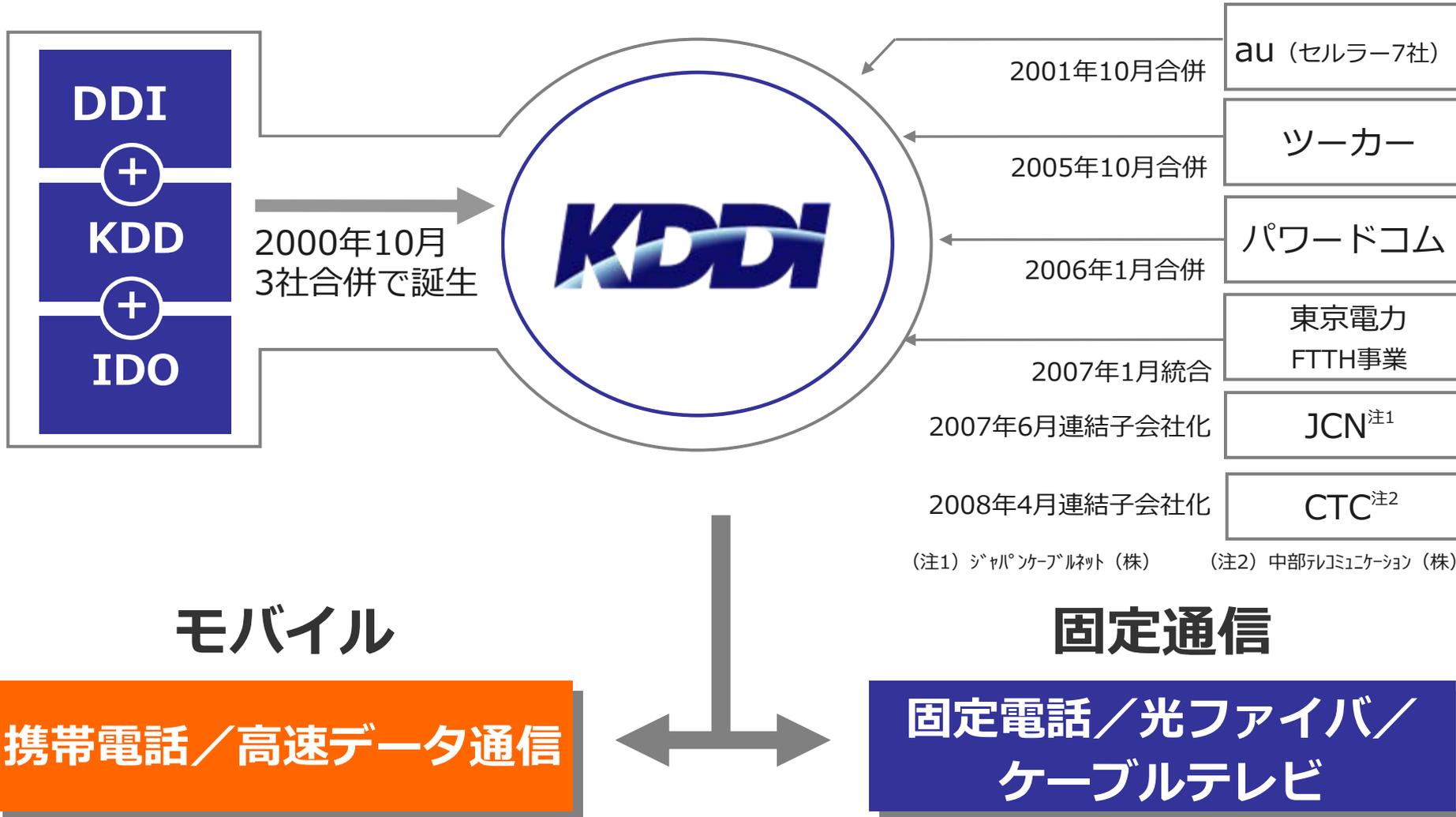
* 2011年度実績

** 2012年11月28日時点

*** 2012年度見通し

**** 2012年3月末

KDDIの特長



KDDI = 総合通信事業者

KDDIの主なサービス

モバイル

● 携帯電話



KDDI・沖縄セルラー電話が携帯電話サービスを提供。
業界シェア2位。

● 高速データ通信



関連会社のUQコミュニケーションズが
高速データ通信「WiMAX」サービスを提供。

au Wi-Fi SPOT
Wi-Fi HOME SPOT

モバイル通信網と固定通信網を継ぎ目なくつなぐ
Wi-Fiサービスを提供。

固定通信

● 光ファイバ

auひかり
auひかりちゅら
JCOM光

KDDI・沖縄セルラー電話・CTCが光ファイバ
サービスを提供。業界最速の1Gbpsが強み。

● ケーブルテレビ

JCN
J:COM

業界シェア2位のJCN（連結子会社）に加え、
業界シェア1位のJ:COMを関連会社に持つ。

スマートフォン・ケータイ・
PCで便利なネット銀行

じぶん銀行

じぶん銀行

スマートフォン・
ケータイで損害保険

au損保

au 損保

日本で唯一の
「国際放送」送信所

八俣送信所



海底ケーブルの敷設・保守

国際ケーブル・シップ



世界最大級の衛星通信センター

山口衛星通信センター



会社業績①

(KDDI発足) 2000年度

2011年度

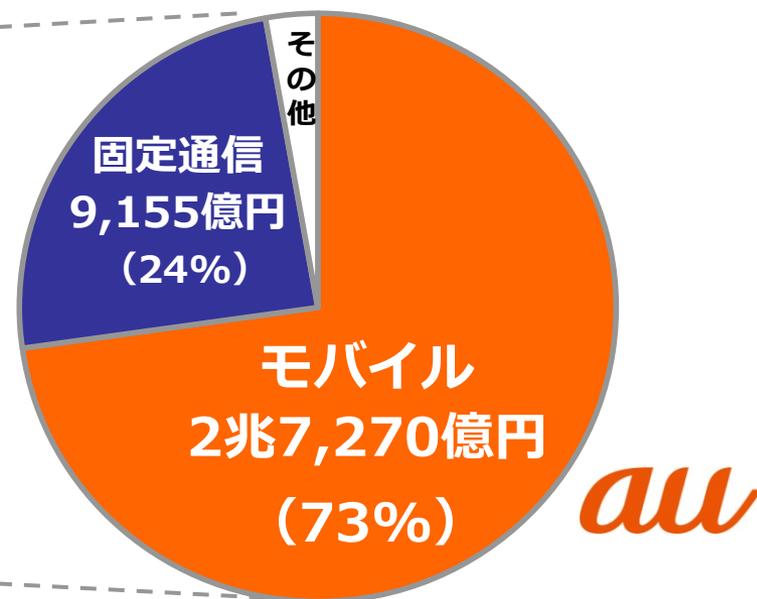
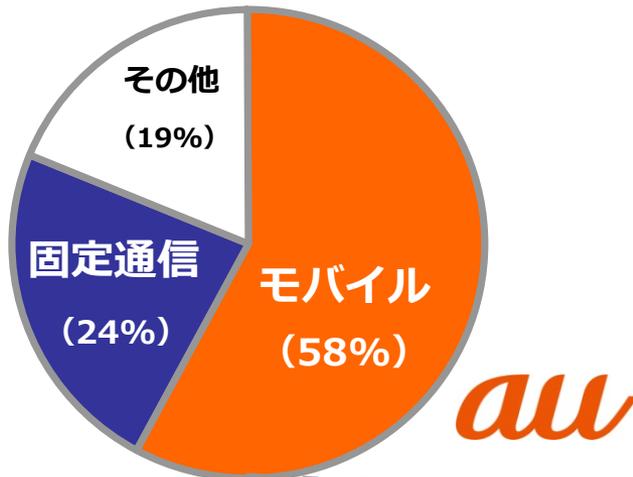
売上*

2兆8,164億円

1.3倍

3兆5,721億円

*連結売上は、各事業間取引を消去した後の値



営業利益

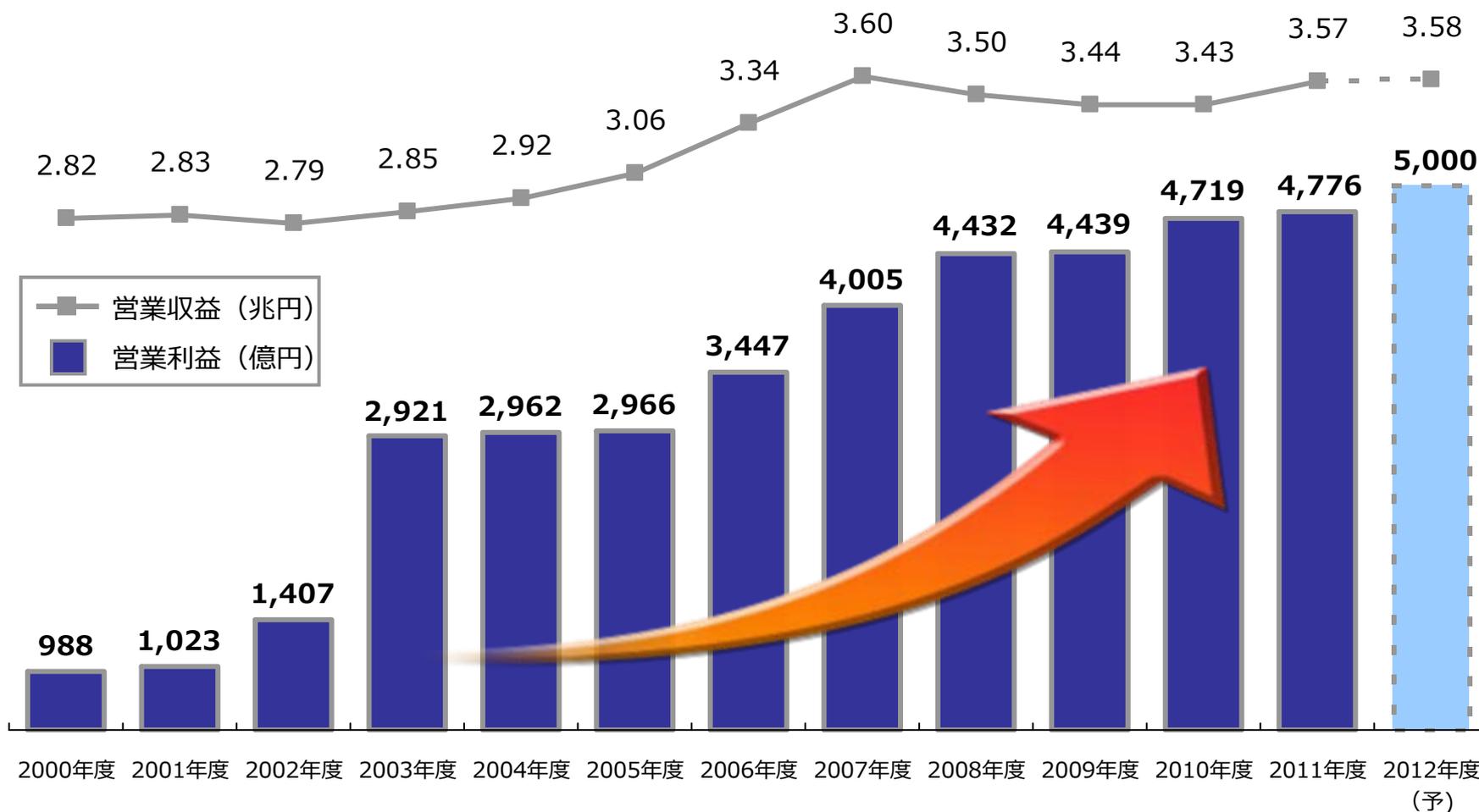
988億円

4.8倍

4,776億円

モバイル（携帯電話）が会社業績を牽引

- KDDI発足以降、11期連続で営業増益
- 今期営業利益は、過去最高の5,000億円を予定



1 会社概要

2 新経営体制2年

3 KDDIの成長戦略

4 株主還元

5 参考情報

「新しいKDDI」の構築に向けて

2010年度

2011年度

2012年度

▲
2010.12
社長交代

基盤事業の立て直し

モバイル

auモメンタム（勢い）回復

固定通信

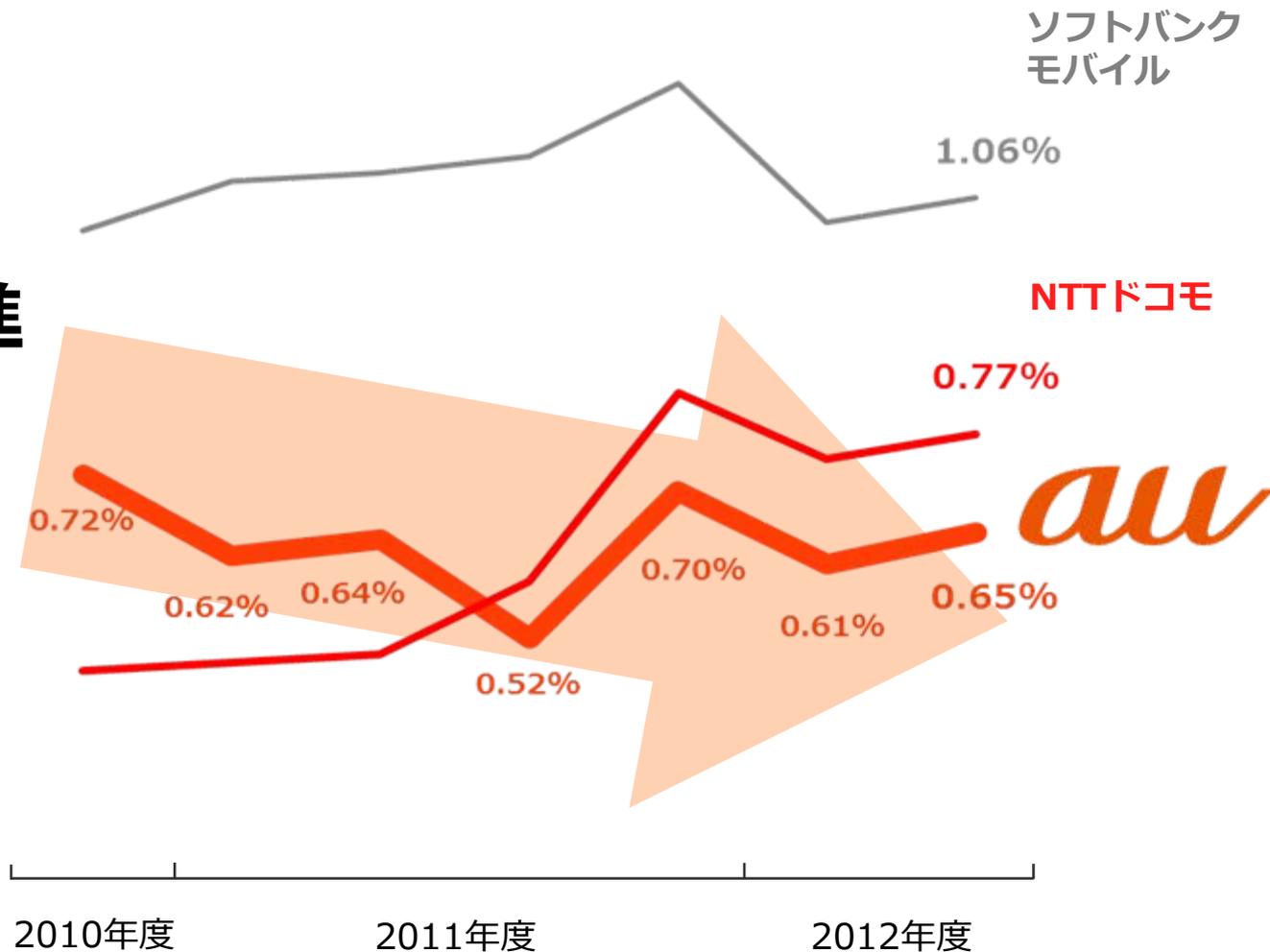
増収増益基調の確立

新しい時代
に向けての準備

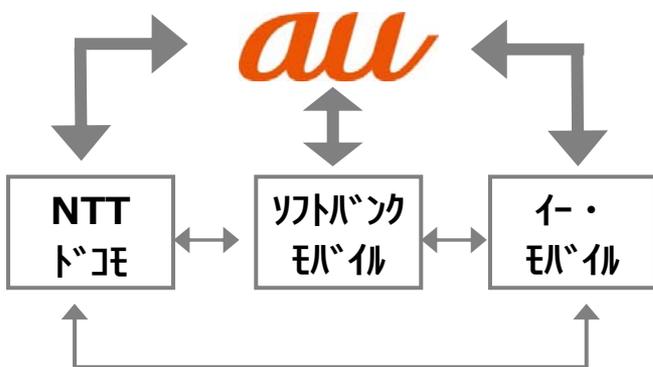
3M戦略*の本格展開

業界最低水準 にまで改善

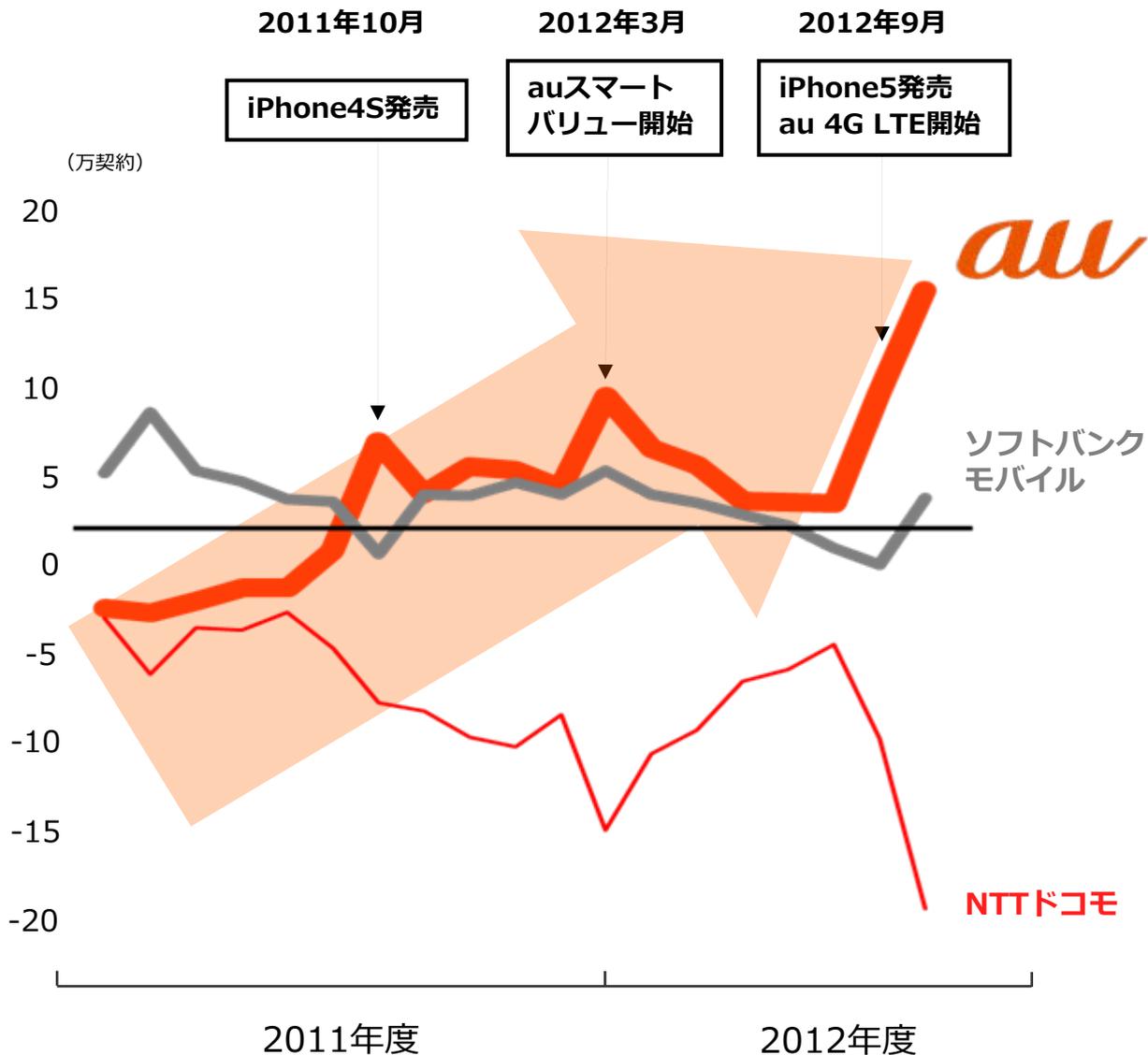
*au解約率はモジュールを除く



MNP (=番号ポータビリティ)



契約している電話会社を変更しても、
電話番号は継続利用できる仕組み。
電話会社間の競争力を測る指標の一つ。



*証券各社アナリスト算出値を基に作成 (期間:2011年4月~2012年10月)

ありがとうございます。おかげさまで
お客さま満足度 No.1。
これからも、さらなる満足をお届けしてまいります。



“携帯電話サービス顧客満足度 No.1”

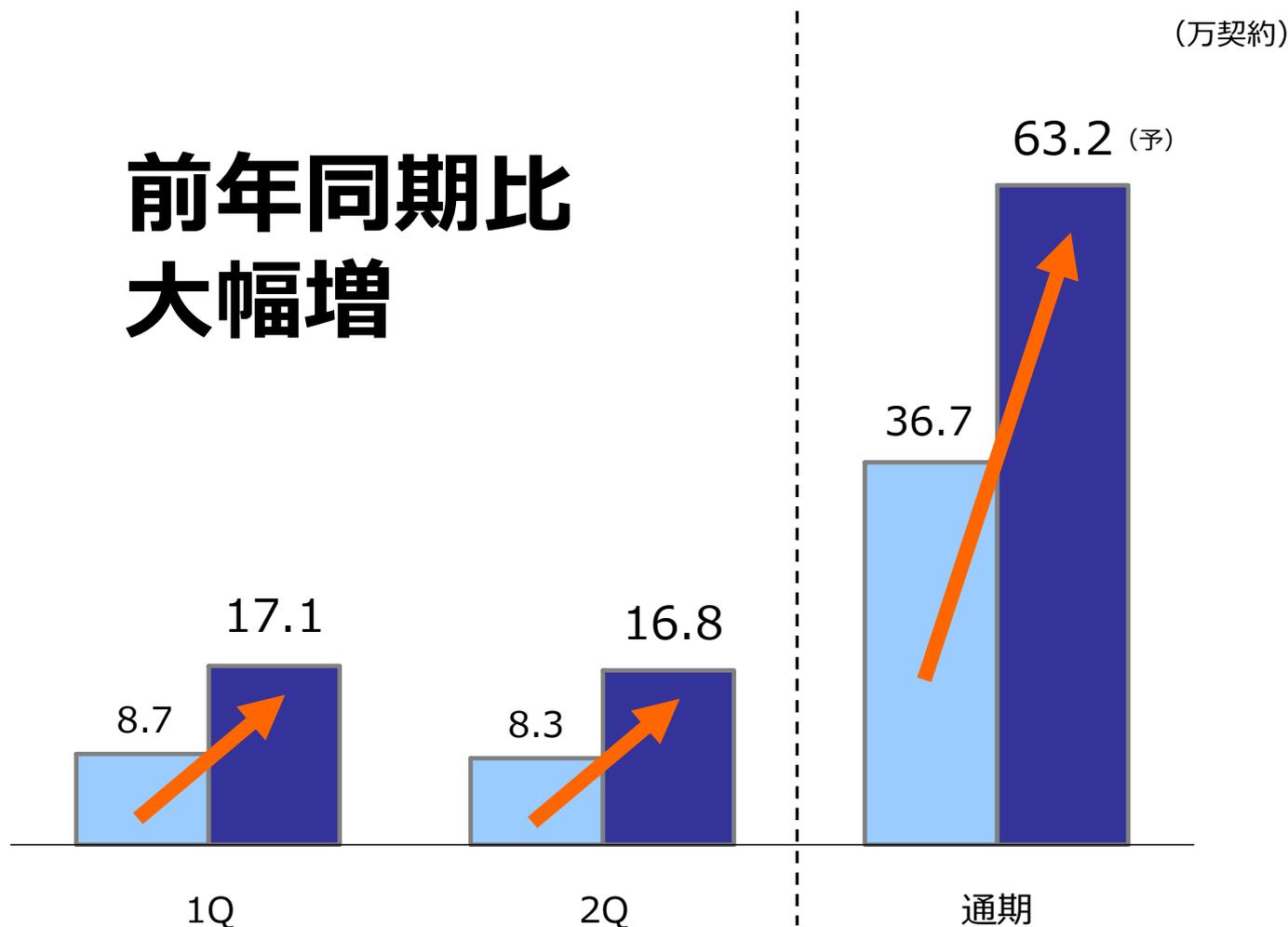
出典：J.D. パワー アジア・パシフィック 2012年 日本携帯電話サービス顧客満足度調査SM。
日本国内在住の携帯電話利用者 計 31,200名からの回答による。japan.jdpower.com

MNP (番号そのまま au にのりかえ) 13ヶ月連続 No.1。

出典：RBB TODAY (2012年11月現在)



前年同期比 大幅増



左側:2011年度/右側:2012年度

- **auモメンタム（勢い）の完全回復**
- **固定通信は増収・増益基調へ**

基盤事業の立て直し完了

2012年度は成長起点の年

1 会社概要

2 新経営体制2年

3 **KDDIの成長戦略**

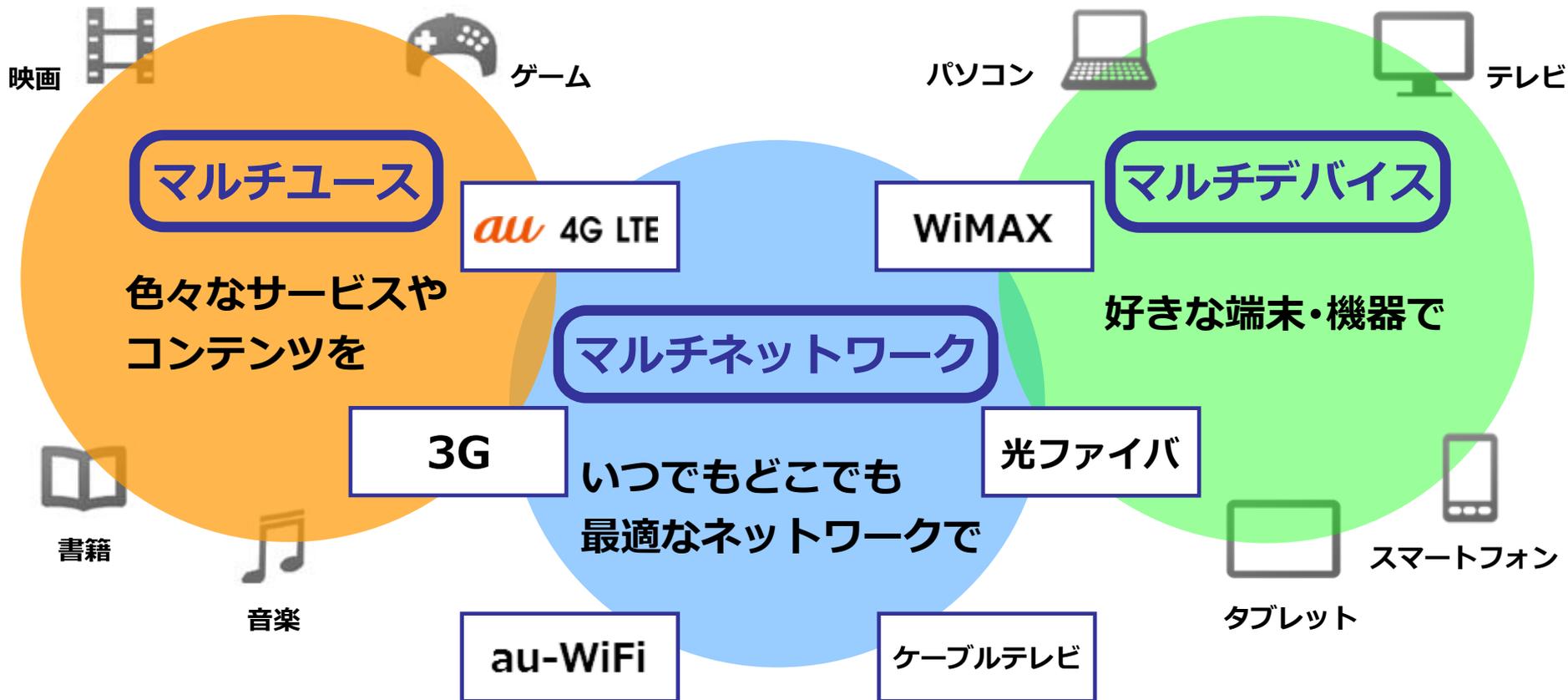
4 株主還元

5 参考情報

3M戦略

(国内事業の成長戦略)

3M戦略とは



「マルチユース」「マルチネットワーク」「マルチデバイス」の3つの頭文字からなる、KDDIにおける国内事業の成長戦略。スマートフォンやタブレットなどお好みのデバイスで、つながりやすい、最適なネットワークを介し、魅力的で多彩なサービスやコンテンツをいつでもどこでもご利用いただける通信環境をお届けします。

① KDDIの独自性

- モバイルと固定通信の1社提供
(モバイル、光ファイバ+CATV)

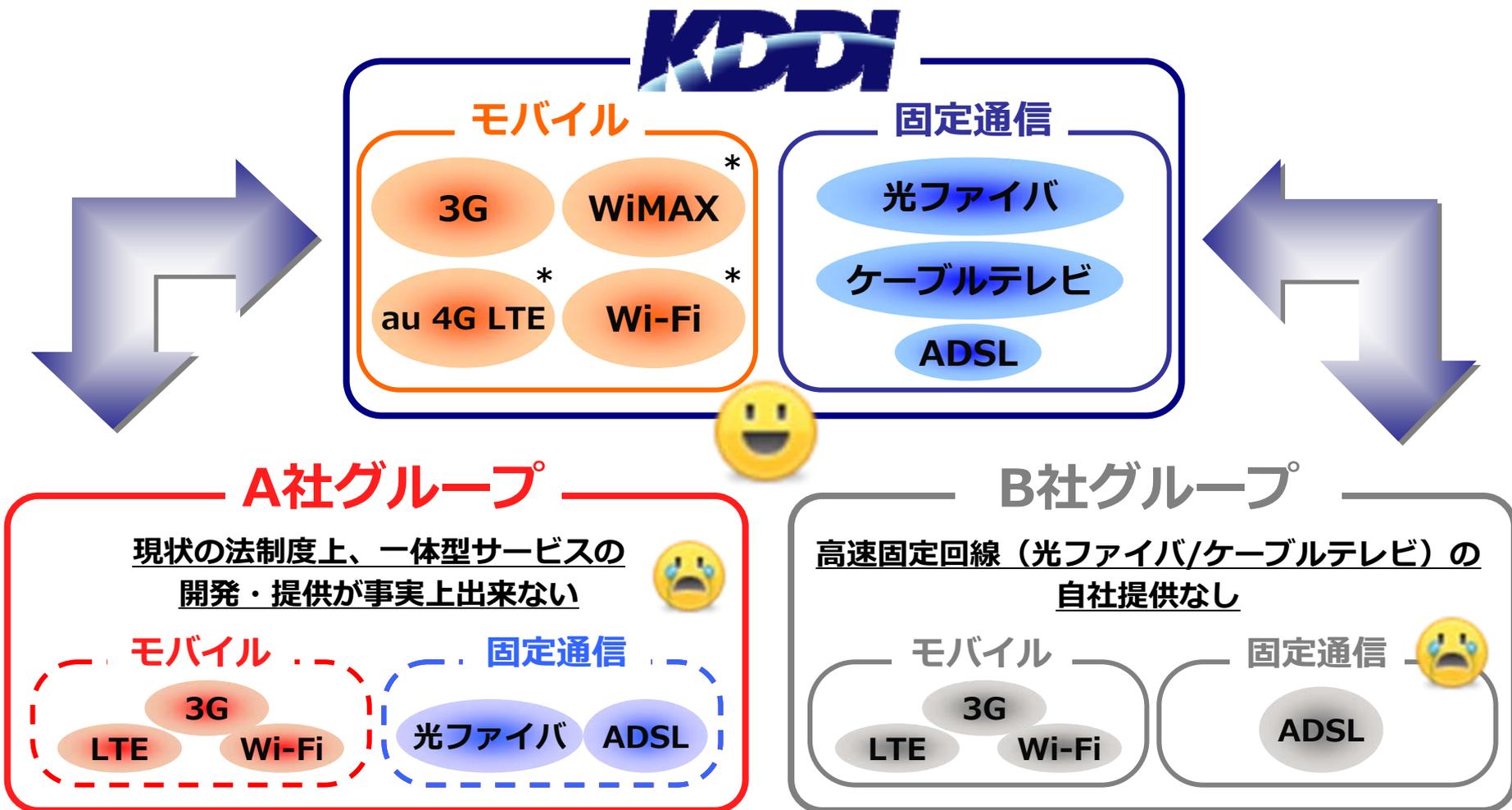
② 事業環境の変化

- マルチデバイス・マルチユース
- モバイルデータ通信量の急増

3M戦略による事業成長

【背景①】 KDDIの独自性

KDDIのみ、モバイルと固定通信を一社で総合的に提供



場所や通信機器を問わず、インターネットを通じて 色々なサービスを利用する時代に

2000年以前

外出先



携帯電話

屋内



パソコン

2010年代

外出先



携帯電話



スマートフォン



タブレット



パソコン



テレビ

場所を問わず色々な通信機器を利用

屋内

スマートフォン/タブレットの普及に伴う

モバイルデータ通信量の爆発的増加

当社ユーザのモバイルデータ通信量見通し



モバイルインフラ
単独では収容困難

ビジネスモデルの大転換

これまで

モバイル中心の売上モデル

モバイル回線数 × 売上

モバイル

データ売上

音声売上

戦略の大転換

これから

新たな売上モデル

お客さま一人当たり
売上の拡大



(お客さま)

付加価値
売上

事業者決済手数料

サービス売上

固定通信
売上
+
モバイル
売上

固定回線
(光ファイバ/
ケーブルテレビ)

インターネット

電話

映像

モバイル

データ売上

音声売上

お客さま数の
拡大

3M戦略を具現化する サービス

KDDI/提携先の固定回線*とセットで、 スマートフォンがおトクに！

2012年3月開始



+  auスマホ =

+  auスマホ =

+  auスマホ =

+  auスマホ =

合計 5,920円/月 off

1,480円/月 off

1,480円/月 off

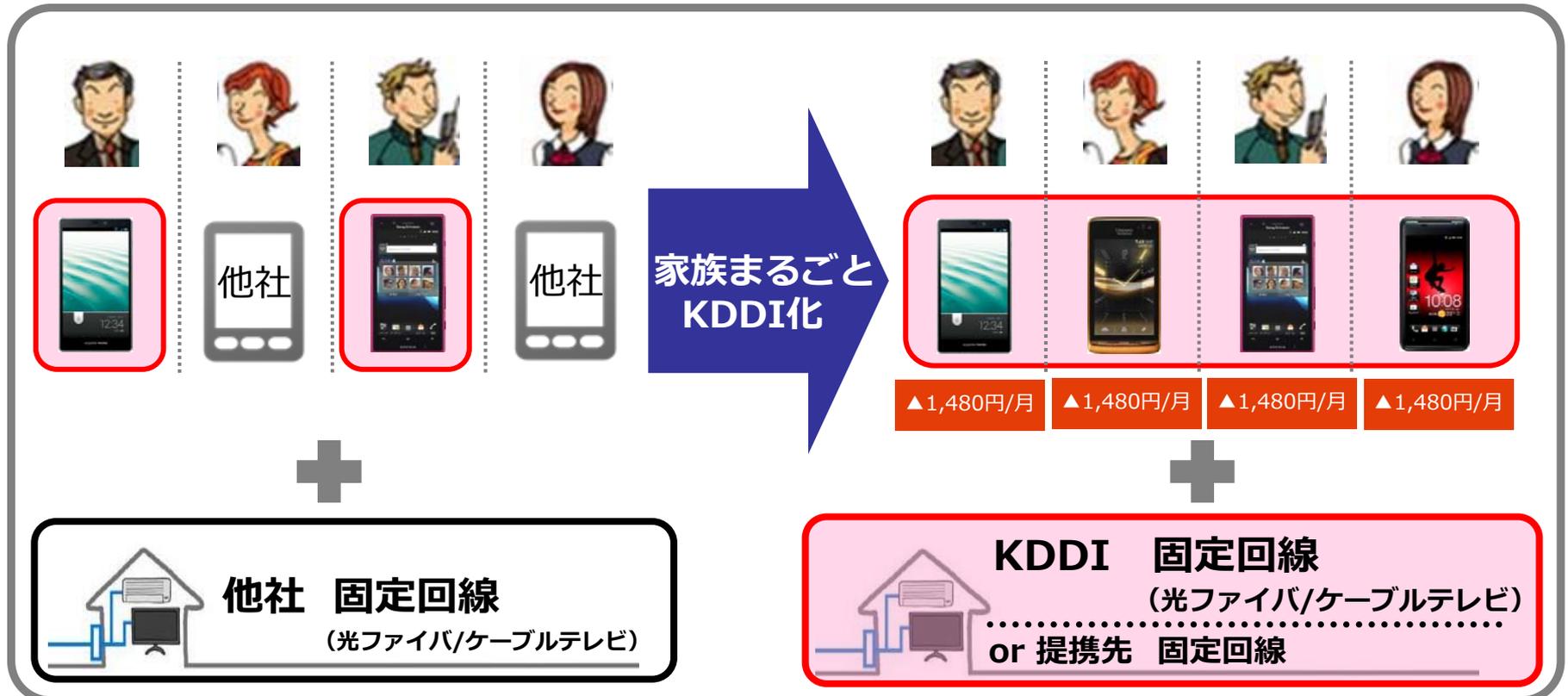
1,480円/月 off

1,480円/月 off

上記の金額は最大2年間適用

家族まるごとKDDI化

お客様のメリット： 家族全員のauスマートフォンがおトクな料金に
KDDIのメリット： KDDIのスマートフォンと固定回線の販売拡大
および解約率低下



充実したスマートフォン向けサービスが

月額390円で使い放題！

5万円分相当

大容量

おトクな
割引特典

スマートフォンが
安全・安心に

アプリ取り放題



データお預かり

au Cloud
Photo Air
Photo Album



クーポン&ポイント



セキュリティ



2012年3月開始



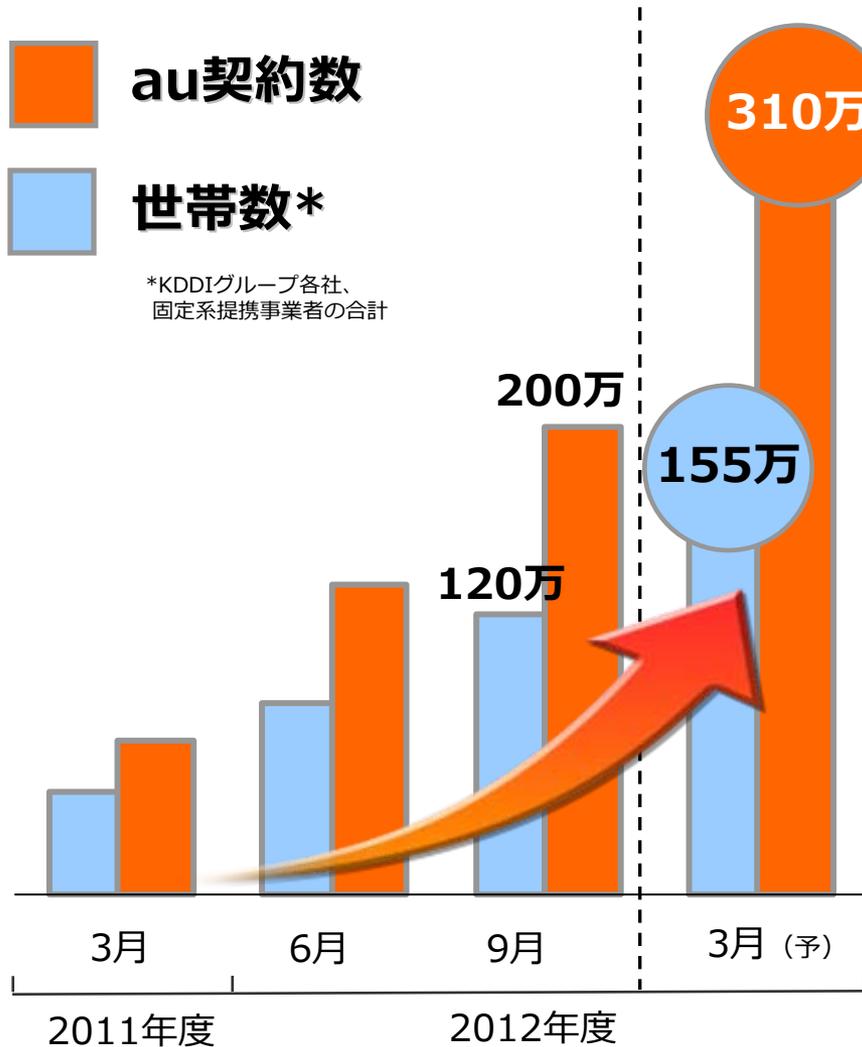
auスマートバリュー

auスマートパス

■ au契約数

■ 世帯数*

*KDDIグループ各社、
固定系提携事業者の合計



11月上旬に
300万会員突破



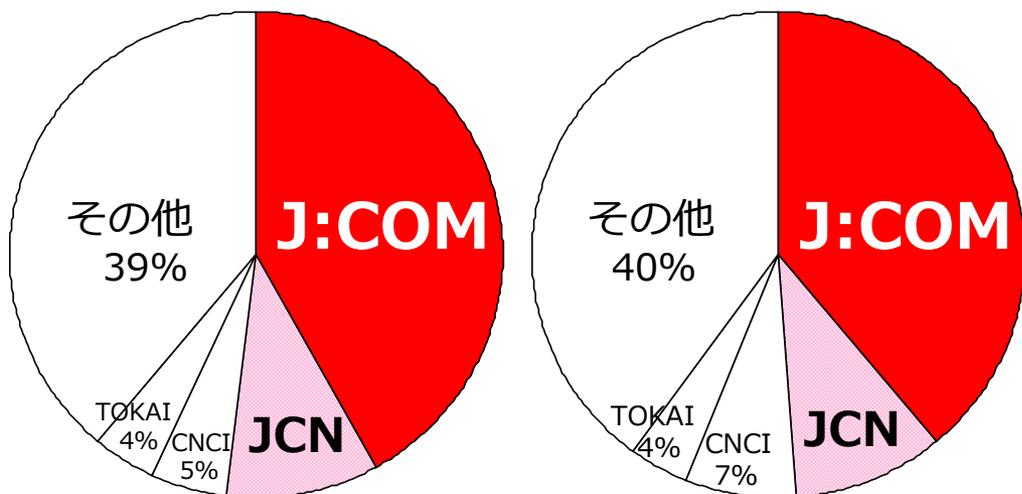
ケーブルテレビ 1位と2位を統合、KDDIに連結化

(J:COM) (JCN)

(2013年秋完了予定)

国内シェア*1

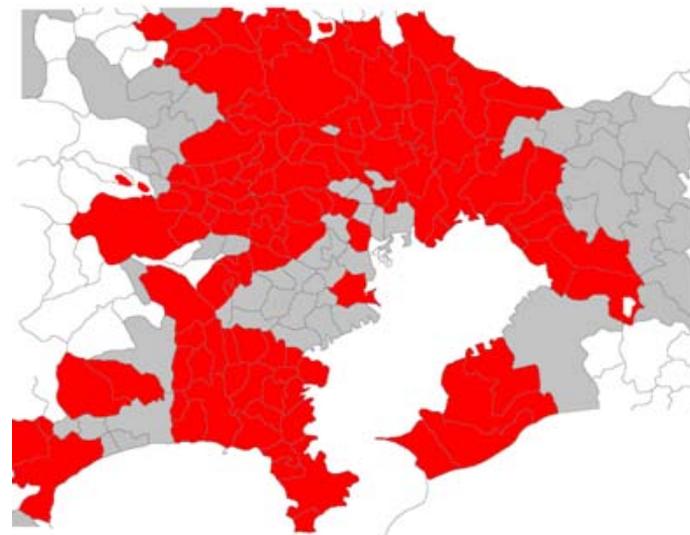
多チャンネル 52% インターネット 49%



サービスエリア

- 全国の約4割の地域をカバー*2
- うち関東（一都三県）は約8割をカバー*2

【一都三県（東京/神奈川/千葉/埼玉） 赤色がサービスエリア】



*2 カバー率=ホームパス（世帯）/該当域内の全世帯数

ホームパス：ケーブルテレビの施設設置許可地域内において、伝送路の敷設が完了しているエリア内の世帯数。

*1 出典：2012年3月時点 [放送ジャーナル]

*2 出典：2012年3月時点 [放送ジャーナル]/2011年3月（国勢調査）

3M戦略とケーブルテレビの相乗効果

マルチ
ユース

豊富な映像コンテンツ

マルチ
ネットワーク

高いエリアカバー率

ホームパス 1,800万世帯^{*1}
総加入世帯 480万世帯^{*1}

マルチ
デバイス

Smart TV Box^{*2}



→ TVとの連携

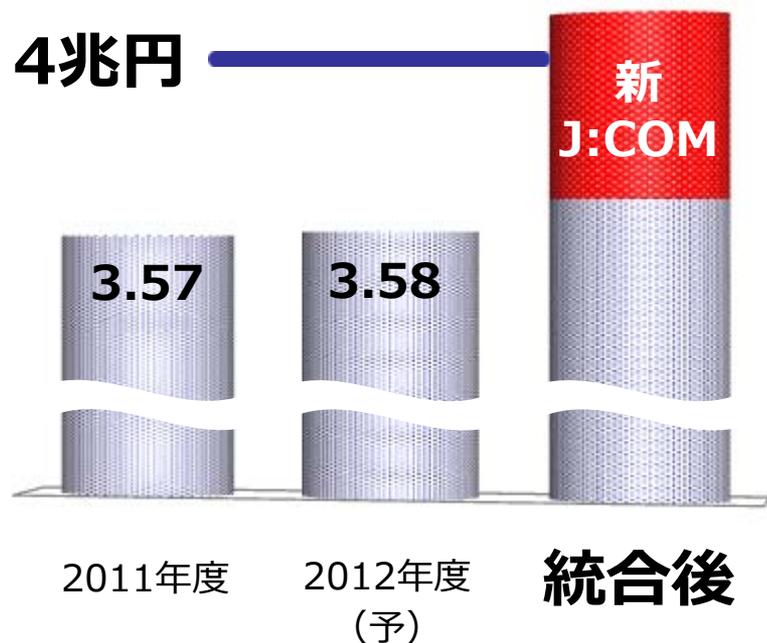
*1 ホームパス/総加入世帯共に、J:COMとJCNの合計(2012年3月末時点)

*2 Smart TV Box : Android™ 4.0 を搭載したケーブルテレビ用のセットトップボックス。地デジ、BS、ケーブルテレビ放送受信に加え、インターネットを利用した様々なサービスを利用できるほかWi-Fiのアクセスポイントも搭載し、自宅のテレビやタブレット端末、スマートフォンなどのWi-Fi搭載機器で、多彩なコンテンツを楽しむ。

KDDI 連結売上4兆円/営業利益6,000億円超へ

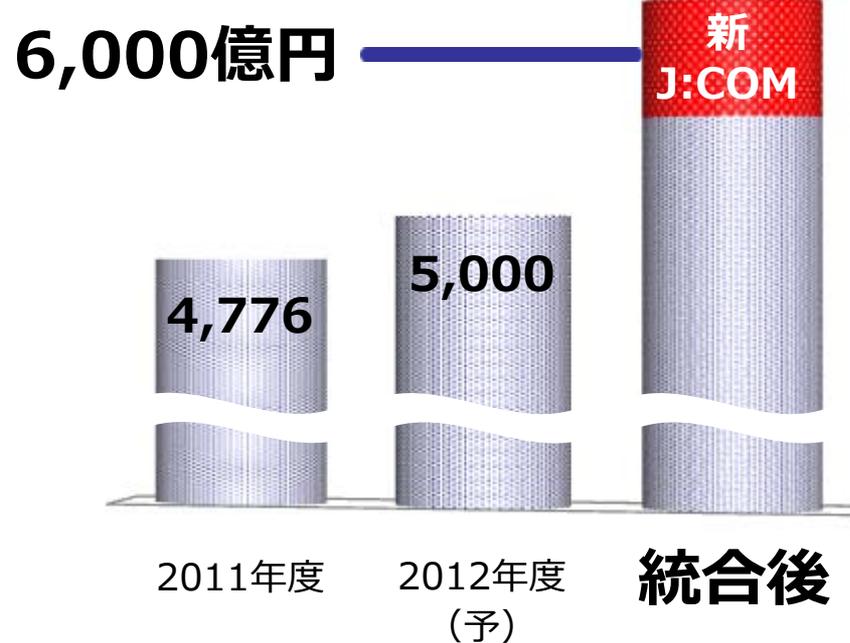
営業収益

(単位：兆円)



営業利益

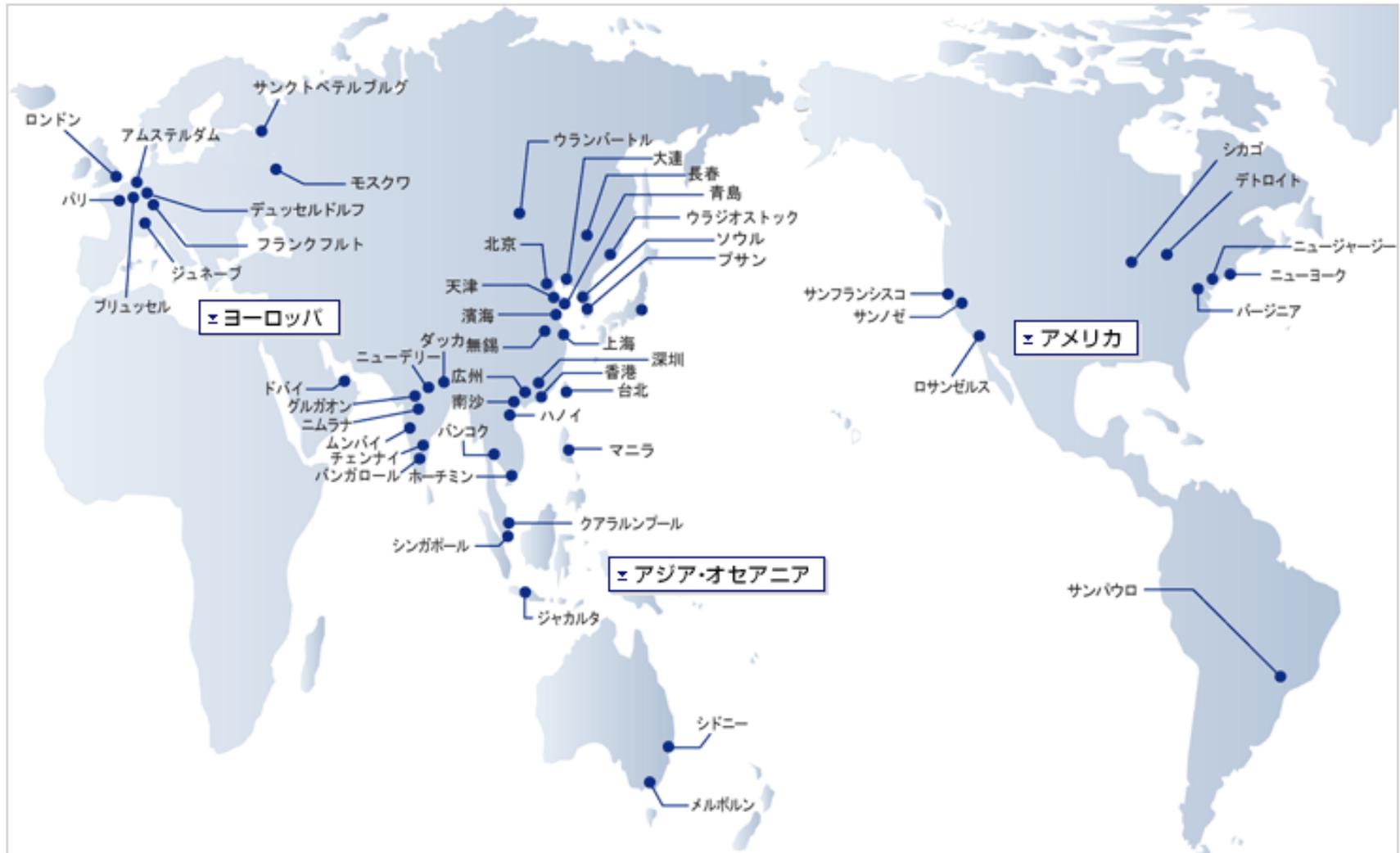
(単位：億円)



グローバル戦略

(海外事業の成長戦略)

海外拠点数：世界25地域、57都市、98拠点*



*2012年9月30日現在

グローバル事業をKDDIグループの事業の柱へ

既存事業のシナジー

データセンター

 **TELEHOUSE** ブランド
(世界11地域、14都市、23サイト)*

ホールセール

世界の通信事業者へ
通信回線の卸売り提供

海外SI

海外拠点の開設支援から
通信機器販売まで

ネットワーク

グローバルな企業通信網を
ワンストップで提供

新規事業

20億人市場へアプローチ

アジア

新興国

au one net

インターネット
接続事業

 **UQ**
WiMAX

高速インターネット
(WiMAX)

 **LISMO!**

コンテンツ

日本でのノウハウを活用

1 会社概要

2 新経営体制2年

3 KDDIの成長戦略

4 株主還元

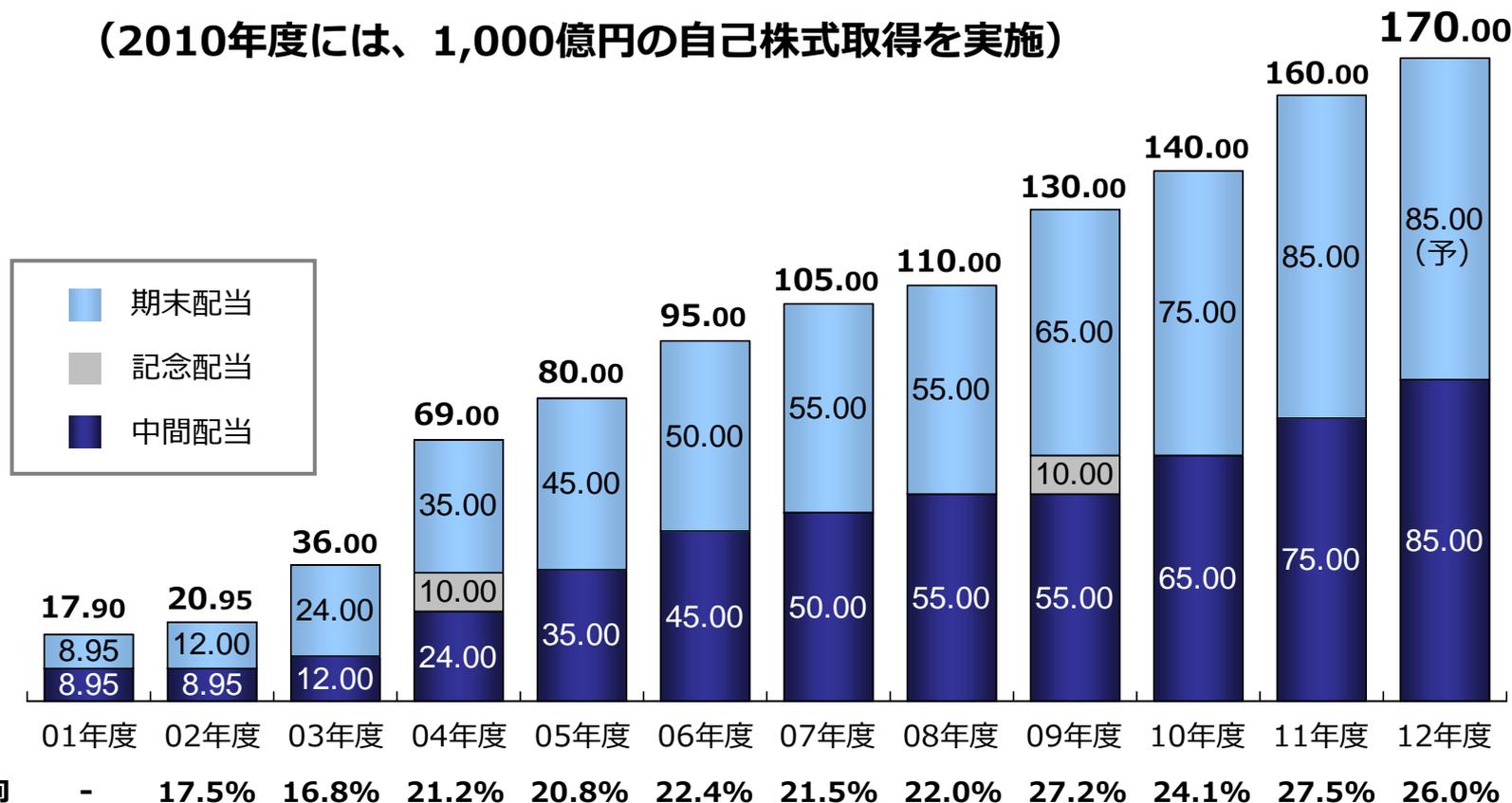
5 参考情報

配当（1株当たり配当金）

安定配当を基本方針として、10期連続増配中

- 配当性向は、25%~30%を視野に着実に引き上げ
- 自己株式の取得も、還元策の選択肢の一つとして検討
(2010年度には、1,000億円の自己株式取得を実施)

(円)



*2012年10月1日に株式分割（普通株式1株を100株に分割）を実施。上記配当金は、当該株式分割を考慮した金額推移。

*配当性向は、06.3期までは単体ベース、07.3期より連結ベース。02.3期は純損失のため、（-）表示。



株主さま向け

海底ケーブル保守船見学会

2012年9月14日(金)

海底ケーブル保守船「KDDIオーシャンリンク」*



株主さま向け施設見学会を 2012年9月14日(金)に開催

* KDDIの子会社である国際ケーブル・シップ株式会社（KCS）が運用する海底ケーブル保守船。光海底ケーブルの敷設・埋設や修理・保守を行うために1992年に誕生。数々のハイテク機器を装備し、新しい国際通信ネットワークづくりのために活躍中。

2012年度

「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業」に選定

- 通信・インターネット部門での、機関投資家向け最高評価を獲得
- 個人投資家向け優良企業としても、同部門において唯一当社が選定



KDDI投資家情報(IR) 「個人投資家の皆さまへ」

<http://www.kddi.com/corporate/ir/individual/index.html>

個人投資家の皆さまへ

KDDIは、新たな成長に向けて変革に挑み、世界中の人々が真に望むサービス、価値を提供します。



KDDIの
あゆみ



> 2000年 KDDI 誕生

KDDIの
事業



> 国内外で通信サービス

KDDIの
強み



> 固定・移動の融合で先行

市場環境



> 激動の時代を迎えて

KDDIの
業績



> KDDI 誕生以来、連続増益

KDDIの
これから



> 新しいビジネスモデルへ

メッセージ



> 社長メッセージと役員インタビュー

> 投資をお考えの皆さまへ

> 配当について

> 最新動画配信

最新の決算説明会などをご覧いただけます。

> 株主向けイベント

株主の皆さまを対象としたイベントを紹介しています。

> 個人投資家向け説明会

個人投資家の皆さま向け説明会資料などを掲載しています。

KDDI投資家情報サイトに、個人投資家の皆さま向けコンテンツをご用意しています。KDDIに関する様々な情報をコンパクトにまとめています。是非、ご覧ください。

KDDI投資家情報(IR) トップページ
<http://www.kddi.com/corporate/ir/>

1 会社概要

2 新経営体制2年

3 KDDIの成長戦略

4 株主還元

5 参考情報

2012年度上半期トピックス

2012年9月21日、*au* 4G LTE 開始

圧倒的な速さ

充実したエリア

約8倍

75Mbps

9.2Mbps

これまでの通信方式
(3G)

新しい通信方式
(4G LTE)

2013年3月末までに
全国をカバー予定

実人口カバー率：**96%**



※実人口カバー率：全国を500m四方に区分けしたメッシュのうち、当社サービスエリアに該当するメッシュに含まれる人口の総人口に対する割合

iPhone 5

9月21日販売開始



全10機種 *au* 4G LTE 対応



htc J butterfly



XPERIA VL



GALAXY S III Pro



AQUOS PHONE SERIE



AQUOS PAD



ARROWS ef



optimus G



VEGA



DIGNO S



G'zOne TYPE-L

- * 「Android」は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- * 「HTC J」はHTC CORPORATIONの登録商標です。
- * 「Xperia」は、Sony Mobile Communications ABの商標または登録商標です。
- * 「GALAXY S」は、SAMSUNG ELECTRONICS Co.,Ltdの商標または登録商標です。
- * 「AQUOS PHONE」「AQUOS PAD」「SERIE」は、シャープ株式会社の登録商標または商標です。
- * 「VEGA」はPANTECH CO., LTDの商標です。
- * 「DIGNO」は、京セラ株式会社の登録商標です。
- * 「G'zOne」は、カシオ計算機株式会社の登録商標です。

用語解説

WiMAX

【読み：ワイマックス】

UQコミュニケーションズ株式会社 (KDDIが32.3%出資) が、2009年7月1日から商用サービスを開始している無線の高速インターネットサービス。電車や車などの高速移動中でも高速なインターネット通信ができることが特徴。現在販売されているパソコンの多くは、あらかじめWiMAXの機能が装備されている。

LTE

【読み：エルティーイー】

Long Term Evolutionの略。次世代携帯電話の通信規格であり、現在の規格は「第3世代」、LTEは「第4世代」と位置づけられる。現在の第3世代携帯電話に対し、より高速なデータ通信が行えることが特徴。KDDIでは、2012年9月に「au 4G LTE」の名称でサービス開始。

Wi-Fi

【読み：ワイファイ】

無線通信機能を持つ機器・端末同士をつなぐ無線の規格。駅や空港、ホテル、カフェなどの施設に設置されているインターネット接続機器と、パソコン、スマートフォン、ゲーム機などをつなぐ。家庭のインターネット環境でも、Wi-Fi機器の設置が可能。

タブレット

【Tablet】スマートフォンの液晶サイズを大きくしたような機器。
Apple（アップル）のiPad（アイパッド）などが代表的。

アプリ

アプリケーションソフトウェア（英：Application software）の略。
「app」と略されることもある。ソフトウェアの類別の一つで、特定の目的のために設計されたソフトウェア。iPhoneやAndroidなどに代表されるスマートフォンが登場し、モバイル環境でも手軽にさまざまなアプリケーションが使えるようになった。

セットトップ ボックス

ケーブルテレビを利用する際に、ケーブルテレビ会社から敷いてきたケーブルと家庭のテレビをつなぐ装置。ケーブルの中を流れてくる放送信号をテレビが受信できる信号に変換するのが主な役割。多チャンネルやビデオオンデマンドの番組を選択するための操作ターミナルにもなっている。

Designing The Future
KDDI